

長生支部だより

千葉県立長生高等学校同窓会

長生支部会報 第2号

発行所 千葉県立長生高等学校同窓会長生支部
発行人 会長 中村早苗

会報第二号発行によせて

副会長 町田義昭

昨年度、中村会長はじめ関係者の皆さんのご努力で第一号が発行されました。今年度からは各地区の副会長が交代で執筆することとなり、一番手に指名を受けました。支部の皆さんの共通の話題をと思つたのですが、年齢層・地域性も様々です。



そこで、私の長生第一高等学校当時の写真を掲載し、当時を思い出していただければと考え、所有の写真の中から二点を掲載しました。上の写真は昭和三六年？当時、希望者に販売されたカラーの航空写真の複写です。全て木造・上下開閉の窓・冬は寒かった。思いで深い梨葉館。出来たばかりのプール。講堂・体育館・図書館・グラウンド・テニスコート。自分のクラスはどこだったでしょう？二枚目の写真は当時の玄関（卒業アルバムから複写）です。向かって右側が職員室、左側に保健室があつたように記憶しています。校名は翌年度には変更になり長生高等学校として現在に至っています。生徒は、まだバンカラ気風が残つていてテカテカの学生帽・下駄履きも多くいました。長生郡内の町村からの生徒も今よりかなり多かつたのではないのでしょうか。



なぜ今は入学できる生徒数が少なくなつてしまつたのか。出来ることなら子・孫・ひ孫に至るまで三枚目の写真（学校要覧から複写）の長生高校で学ばせたいと皆さん思っています。もちろん子供たちも同じでしょう。その願いをいかに叶えるか。支部の会員に何か出来ることはないか。入学した生徒諸君への支援も今まで以上に考えていかなければなりません。入学前の小中学生に長生高校の情報をもっと提供したり、体験させたりして、自ら進んで行きたくなるようにさせることが第一のように思います。



二十七年年度総会

平成二十七年年度総会は、昨年十一月七日にプラザヘイアンにて開催されました。来賓を含め六十五名が出席し、各議案が審議・承認されました。

第二部の講演会では、旧山武郡土気町出身で元東京地検特捜部長の井内顯策氏（昭和四十三年卒）に「東京地検特捜部の思い出」と題して、検察捜査を指揮してきた経験をお話いただきました。

第三部の懇親会では、地区ごと卓を囲み和やかに歓談し来年の再会を約束して散会しました。



講演する井内顯策氏

平成27年度 会計報告(案)

平成27年10月1日から平成28年8月31日まで
(会則改正により会計年度を変更。平成27年9月分は報告済み)

収入総額	1,093,918 円
支出総額	615,768 円
差引残高	478,150 円

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算	増減額	備考
入会金	120,000	8,000	112,000	4人×2000円
親睦会収入	600,000	596,000	4,000	58人×1万円 2人×8千円
寄付	30,000	56,808	△ 26,808	総会※賓、役員会残金
雑収入	40	150	△ 110	預金利息
前年度繰越金	432,960	432,960	0	
収入合計	1,183,000	1,093,918	89,082	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算	増減額	備考
事務費	200,000	75,378	124,622	総会・役員会 印刷費等
事業費	50,000	30,000	20,000	母校支援事業
親睦費	500,000	472,290	27,710	懇親会・写真代
渉外費	100,000	0	100,000	
通信費	100,000	38,100	61,900	郵送代
予備費	233,000	0	233,000	
支出合計	1,183,000	615,768	567,232	

※別枠で、50万円を積立金(定額貯金)として保管しています。

平成27年度事業報告(案)

平成27年

- 10. 14 役員会 役員18名出席
- 10. 25 大網白里支部総会に中村会長が出席
- 11. 7 平成27年度総会 来賓・会員65名出席
- 11. 13 長生高校へ寄付金持参 中村会長、伊原会計
- 12. 12 「長高同窓会報」第22号へ寄稿

平成28年

- 2. 17 役員会 役員18名出席
- 2. 19 長生高校同窓会常任幹事会 中村会長、塚本・町田・渡邊副会長出席
- 4. 16 総会会場下見 中村会長、古山事務局長
- 5. 17 役員会 役員21名出席
- 6. 16 長生高校同窓会常任幹事会 中村会長、渡邊副会長、古山事務局長出席
- 6. 17 東京長高会総会に中村会長が出席
- 8. 6 長生高校同窓会総会

長生中学校歌

一、
それ南総の一聖地
浮華の流れをよそに見て
そそりたちたる八百余
これぞ長生健児の舎

二、
省みる世は滔々と
文明の華に酔はば酔え
開化の色に酔はば酔え
我は狂はじ華の夢

三、
経文緯武を心にて
若き血潮のたぎるとき
富貴の華の牡丹より
清き梨雪を偲はずや

四、
朔風肌をつんざくも
破邪の剣を霜にとぎ
炎熱石をとかすとも
文読む力衰へじ

五、
扶揺をうちて九万里
凶南の翼振ふとき
六大州は我が舞台
五大洋は我が湖沼

六、
健児が胸に青春の
たか鳴る血潮をうそふけば
永劫の響きをとよませて
和するは道廟松の声

旧制長生中学校歌

創立百十周年の時に長女が長高に在籍しており、記念に校歌・応援歌のCDをいただききました。右はその歌詞カードです。曲も聴きましたが、その歌詞たるや、往時の若者の心意気が溢れんばかりだと思えます。漢詩調の歌詞にも時代を感じます。戦時中に旧制長中を卒業した先輩と、十年ほど前まで毎年お会いする機会があったのですが、酒がすすむと「今でも長中の校歌が歌える」といってと歌っていたことを思い出します。

(古山)